

令和6年度 地域における大学振興・若者雇用創出事業評価委員会  
議事要旨

日時：令和6年6月5日（水）14:00～14:30

場所：中央合同庁舎8号館7階デジタル田園都市国家構想実現会議事務局内会議室

1. 議事

(1) 計画作成支援事業：地方公共団体Aの審議

事務局から書面評価取りまとめ結果の説明があったのち、委員の意見交換を行った。  
委員からの主な意見は次のとおり。

- ・ 難易度の高い研究開発や量産を成功させるには、大学Bだけでは難しいと考えるが、世界最先端の大学との提携や研究者の招聘など、成功するためにどのように取り組んでいくかの姿勢を示していただきたい。
- ・ 本事業は企業Cの強い意志がないと成功しないと考えられるため、企業Cがこの事業にどのような形で参画するのか伺いたい。
- ・ グローバルなネットワークの中で企業Cが取り組もうとしているが、実現するかはリスクを伴う部分がある。また、その取組のレベルが高くなると、地元企業が対応できなくなることも考えられる。地元企業がどのように本事業に関わってくるのか、説明いただきたい。
- ・ 大学Bは、本事業に関する分野の専門家がどの程度蓄積があるのか分からない。他大学との連携等があれば、安心する要素が出てくる。
- ・ 様々なところで人材育成に取り組んでいるため、大学Bの人材育成プログラムで、どのように”キラリと光るもの”をやろうとしているのかがとても重要である。

地方公共団体Aについては、これらの内容について、面接評価で確認することにした。

以上